

春の足音が少しずつ感じられるようになってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、来月にせまりました当寺院の落慶法要でございますが、それについて色々なご質問が皆様からございました。特に多かった件について、今回の紙面を使いご説明させていただきます。

## 「落慶法要にはどのような服装でお参りすれば良いのでしょうか？」

皆様がお寺にお参り行く際に、まず頭に浮かぶ姿は「喪服」ではないでしょうか。親類のご法事の際に、「なんだかよく分からないけれども、ネクタイを黒にしておくかな。」や「お正月にお寺に行く際に、振袖は派手だから不謹慎では・・・？」等々、お寺に行く際の服装に関してのいろいろなお話を聞きますが、喪服というものは喪主家が喪に服す期間に装う服ですから、皆さんが法事（但し7回忌以降）等に出席される場合は、喪主家に対して失礼な格好でない限り、何を着ても構いません。ですからお寺に行くからといって、なんでも『喪服』という考えは、大きな勘違いです。お寺はご葬儀だけを執り行う場所ではなく、熱心な檀信徒さんですと結婚式もお寺で行う方がおられるくらいですから、この際『お寺＝黒（喪）』という発想は是非、頭の中から消し去っていただきたいと思います。

では、落慶式になるとどのような服装が良いのかといえますと、やはり慶事でございますので、基本的には結婚式と同じようにお考え下されば結構です。

男性】 - 礼服もしくはスーツにて、ネクタイはシルバーグレーか白が一般的です。

女性】 和装、もしくは洋式の場合にはあまり派手にならないスーツ等が良いとされています。

また本堂では、皆様のご先祖様も一緒になってお祝いされている訳でございますから、そのご先祖様に対して「今、子孫である私達家族は元気にやっておりますよ。」とお伝えできるようなもの（紋付・故人の形見など）を、身に付けることも良いかもしれません。ただあまり細かいことは気にされず、黒のネクタイや喪服等を着用しないようにだけして下さいれば、結構かと思えます。



そして最後に、

数珠を忘れないように

持って来て下さい。

これが一番重要です。

～ 『本堂・庫裏落慶式』のご案内 ～

皆様の多大なるご協力を得て、昨夏に完成致しました本堂・庫裏の落慶式（完成式典）を、下記の予定で勤修致します。

時：平成22年 4月 18日（日） 午前10時半より  
場所：普照院新本堂

- ・ 駐車場は用意してありますので、お車の方はお気をつけてお越し下さい。
- ・ 雨天決行致します。
- ・ JR兵庫駅からお越しの方は、**タクシー**をご利用下さい。  
タクシーの運転手さんには「県立兵庫工業高校」の正門前 とお伝え下さい。

\*落慶式へのご参詣は、3月7日までにご連絡下さいませ。

不明な点はいつでもご遠慮なく、お寺にご連絡下さい。

当日はおそらく住職多忙の為、皆様とゆっくりお話等出来ないかもしれませんが、何卒ご容赦の程宜しくお願い申し上げます。  
皆様と寺院再興完了をお祝いできることを願っております。

合掌

当日ご参詣出来ない方へ

後日落慶記念品を郵送させていただきます。

今後も、いつでもお寺にご参詣下さい。  
住職家族一同、お待ちしております。



〔編集後記〕

この度は、来月行われます当寺院の落慶法要に関する記事で紙面の殆どを埋めてしまいましたが、他の寺院ならともかく、私のお寺のモットーは「新しいお寺のあり方」を追求することです。普照院に関係する他宗派の方も、他宗教の方も、是非檀信徒の皆様と共に新しいお堂が完成したことを喜ぶ落慶法要に、是非ご参加いただければと思います。（人数把握の為、事前にご連絡のほど、宜しくお願い申し上げます。）

合掌

発行；[時宗 慈光山 普照院]

責任者 小田義宗

652-0853 神戸市兵庫区今出在家町 4 1 29

078 671 1787

ホームページ：<http://fusyoin.com/>

